

第443号

2025年8月10日 (日) 13:30

戸倉多香子さん猛暑の中、選挙戦をかん
 ばりました。当選はなりませんでしたが、無所
 属で 91447 票を獲得。上野周辺市町と地元南
 市では 10.2% の票を獲得しました。全投票数の 15%
 を獲得。

當 〇 〇

225, 617	北村	経夫	自現
131, 192	山崎	珠江	参新
126, 425	関谷	拓馬	国新
91, 447	戸倉多	香子	無新
8, 807	奥野	信治	諸新

			北 村	山 崎	奥 野	戸 倉	関 谷	投票率
			(自現)	(参新)	(諸新)	(無新)	(国新)	
下	関	市	39,375	24,128	1,850	14,265	21,784	51.60
宇	部	市	24,827	17,295	1,173	8,918	16,146	53.69
山	口	市	31,629	17,521	1,087	11,060	23,678	56.70
秋	府	市	9,972	3,681	222	2,566	3,284	56.70
防	松	市	18,726	11,995	732	6,069	12,699	54.84
下	国	市	9,422	5,986	392	4,439	5,690	57.46
岩	門	市	21,594	13,641	865	10,369	10,006	55.82
光	井	市	8,877	4,952	329	4,990	4,453	59.16
長	称	市	7,518	2,686	202	1,558	2,196	56.98
柳	南	市	6,095	2,747	188	2,819	2,513	59.49
美	小	市	5,611	2,209	124	1,311	1,979	62.99
周	野	市	20,630	13,159	895	15,070	12,578	56.47
山	大	市	9,462	6,581	402	3,306	5,724	53.30
周	木	町	4,012	1,103	139	1,230	915	62.80
和	関	町	946	651	32	436	568	59.37
上	布	町	780	129	9	272	98	66.12
平	生	町	3,169	1,403	73	1,416	1,075	60.10
阿	武	町	2,053	1,054	70	1,148	804	56.48
			919	271	23	205	235	65.93
県	計		225,617	131,192	8,807	91,447	126,425	55.43

金田山に中間貯蔵
のこごとを知らしめた
との声も。戸倉さん
ありとあり。

関部口	府松
下宇山鉄防下	

2025
年
10月
26日
午前10時

テーマ「核の恐ろしさとは」

会場 徳山保健センターホール

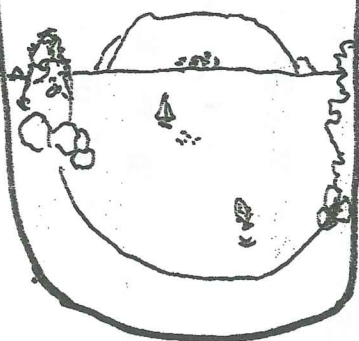
主催 中間貯蔵施設を考へよう周南の会

共催・伊方原発を止める山口裁判の会

共催・福島県民の会の裁判を支援する会

7月、9月はお休み
します。

通文先 原主 070-5309
-1032



7/8のオンライン講座は事後視聴も可能だそうです。
詳細は→ <https://apply.npa-asia.net/items/100259655>
(ただし購入に1000円かかり、また購入期限は8/28だそうです、
念のため併せてご案内させていただきますね)

ちなみに、外浦の海岸線の映像は
高屋の有志の方々が直接に発信する「高屋だより」にも
以下のURLにて少しアップされています：

https://note.com/takaya_dayori/n/n55841a6t035

* こちらの映像はスマホ撮影ですが解説とともにアップされています。
1本目(2分以内)は無料でご覧いただけます。
2本目(約8分)は有料(500円)部分にアップされており
ご購入いただくとご覧いただける形です。

絶景海道は地震後に再開通してから半年ですし通行可能な車両も限定的ですし、被害の状況があまり知られていませんが、あの実態を共有することの意味は小さくないとも思っています。

だからこそ私の記録用の拙い映像ながら少しでも発信をと励んでいる次第です。

山本さんOR時岡。前年上岡のとき、後幸が経景海道の映像です。

山秋さんから
のX-ルビ。

一原榮をくくらせはいん々(岩波新書)の著者
山杖 直夫さんからの警告です。
この映像を見ると地震の破壊力のすごさが
想像力をはるかに越えたものであること
がわかります。
上関町の中岡貯蔵施設予定地でも同じこと
が起きる可能性があります。
すぐ下の海底に80m、90mの活断層が確認
されているので。

能登地震でびっくりいまだに崩れた絶景海道の映像を見て！

代表者 小中 進
〒742-1313 山口県 熊毛郡
田布施町 麻郷 2208
tel, FAX 0820-55-6291

根込口座
(郵)01590-5-27469

口座名「原莞いらん!山ノホトワヅ」
作製・印刷、発送
周防漢土の自然を守る会

三浦 翠とメンバーズ

2025反原発デモ
県民集会

11月15日(土) 11:30
~17:00

上岡町総合文化センター
ホール

● 例会の報告(7月13日)

● 参加地域 柳井、田布施、下松、周南

① 小中代表より

猛暑の中、大変な選挙となりました。

山口県にとっては中間貯蔵の問題があり、非常に重要な選挙です。

これから先、選挙後も、中電がいつ結論を出すのか、12月の柳井市議選、来年2月の上関町議選、町長選、山口県知事選と重要なことが続きます。

皆でしっかり話し合って、もり上げていきたいと思います。

○ 柳井市から

柳井市では郵便局のタウンプラスという方法を使って全戸に署名用紙と説明文、返信用の封筒を送って中間貯蔵反対の署名を集めている。

ポスターを貼る場所もそれぞれ募集している。

12月の柳井市議選に向けて、がんばりたい。

柳井の市議会議員定数は16名。

8人の以上の反対の議員をつくる。

○ 中間貯蔵を考へよう周南市民会

7月15日、周南市長に申し入れをする。

中間貯蔵賛否両方の専門家を招いて市民に対する説明会を周くよう要請する。

○ 平生町では

自治会連合会を通じて中間貯蔵についてアンケートを行った。自治会の7割がアンケートに反応、反対が7割。

8月19日に県知事に申し入れをする。

これで周辺ノ市町からはそれぞれ反対の意思が示されたことになる。

② 7月16日、周南市で戸倉さん応援の大講演会

がありました。

登壇されたのは元総理の鳩山由紀夫氏、衆議院議員の近藤昭一氏、阿部知子氏

川内博史氏と平岡秀夫氏でした。

司会は田布施町議の藤田枝里香さん、がんばろう、の音頭をとったのは平生町議の原真記さんでした。



③ 7月12日、にん国体の会議が上関町でありま

した。小中さんの都合が悪く、河本さんと三浦が参加。各団体からの報告がありました。

上関町民の会では、2月の町議選に向けて、議員定数削減の請願を出すことに。

祝島からは株主総会の抗議行動に30人で参加したこと

2

10日には戸倉さんの応援に清水丸を出した。

19日に13回目の島内デモがあり、兵庫県の10数名まで参加、にぎやかなデモになったこと。

上関の自然を守る会からは京都でシンポジウムを開催したこと、びわ湖をのびたこと。

ネットワークからは、小郡であつた飯田哲也さんの話を紹介。

世界の急いデモで自然エネルギーに回帰する中、日本だけが逆走状態にあること。

■ 会計報告

2025年7月の会計報告

— 原亮いらん、山口ネットワ—

2025年5月の報告の残高 227399

収入	会費とカンパ	15200
支出	5月の報告 作製、印刷、発送	43009
	6月の報告	34022
	6月例会会場費	3380
	7月	700
	切手代	330
		81441
差引残高		161158

○ 会費とカンパの振込をありがとうございました。
○ 年会費は2000円です。可能な方はカンパをお願いします。
(郵) 01590-5-27469・原亮いらん、山口ネットワ
会計 三津 翠

イベント情報

when	what	where	連絡先
8月5日～6日	広島2次行事→分送印刷→P7⑧		
8月6日(水)～8月13日 9:00～20:00	高校知よる「原爆の絵画展」	周南シビック交流センター 展示コーナー (無料)	090-2994-9670 森
8月7日(木) 13:00～15:00	長生炭鉱 シャーナリスト討論会 ニセト、ハルナユ、インクショライター 安田浩一、シャナリスト青木 理	宇部・新川ふれあいセンター 事前申し込み 900円 200円あり。当日 1000円	090-4803-5319 井上
8月7日(木) 午後6時～8時	犯罪被害者の声無視する下関市行政を問う。 シャナリスト・浅野健一氏	下関市民活動センター中会議室 (馬前ヴェルダ7-2F) 無料、カハ	ニッリ会。 下関
8月10日(日) 13:30～	原発いらい/山口ネットワーク例会	周南市役所シビック交流室6	0820-55-6291 小甲
8月13日(水)	朝鮮学校への補助金を復活せよ 座り込み	県庁前広場	0836-21-8003 緑橋教会
9月23日(火、休)	さよなら原発1000万人アクション	東京・代々木公園B地区 (NHKビル横)	03-5289-8224
9月18日(木) 10:30～	祝島島民の会の裁判 証人尋問	岩国支部	0834-31-4432 周南法律事務所
10月5日(日)～6日	核のない未来を! 「世界核被害者フォーラム」	広島市アステールプラザ	090-9064-4705 (森 龍)
10月26日(日) 午前10時～	小出裕章さん講演会 「核のあそびととは…」	周南市 徳山保健センター1Fホール	090-8990-3685 池田

長生炭鉱の水非常を「史に刻む会」より

- ・オ3次クラウドファンディング終了。目標の740万円をこえて7,801,031円のご支援をいただきありがとうございました。
- ・8月6日～8日 オ5次潜水調査。6日、9:30 坑口433は集合。8月7日、シャナリスト討論会。入。200円あり。
- ・8月25日～27日 日韓共同2次潜水調査。

裁判のこと

・祝島島民の会の裁判(18回岩国支部)

2025年9月18日(木) 10:30

3人の証人尋問

伊方原発差止の裁判(31回) 岩国支部

2026年2月26日(木) 11:15

判決

・多上関原発用地埋立免許延長違法裁判
控訴審の判決について 浅野 勝さんが書きました。
↓P4

・祝島島民の会の裁判について、村田さきさんの報告です。↓P4

熊本一現著

埋立と漁業の法律問題

― 公有水面埋立法の研究 ―

日本評論社
4000円+税

・祝島島民の会の裁判、報告会で祝島からの声

・木村さん(島民の会代表)

多くの人が傍聴に来て下さって嬉しいです。今日は福島から避難された方々に会いました。福島は福島のこと、事故後、自分の畑にガイガーカウンターを向けたら25ミリシーベルトと数字が出た。それを見た時わけもなく涙が出たと話されました。このように人が集まると、体験を聞いていろんな事を知れるのもとても大切なことです。

私が祝島に帰った頃は12人の正組合員が補償金を拒否してがんばっていました。

今は20人足りなくなりました。12人で決めたことを20人で変えるのはありません。今の責任は私たちにあり、今だけのことを考えなければなりません。

・山根さん

一年ぶりに参加しました。先人たちのやま来たことを考えることも原発も中間貯蔵も白紙撤回まで、正しいとはいえず、合点する顔がない。

・氏本さん

運方がうまく来て下さるありがとうございます。

個人的には我々の生活をめっちゃめっちゃにしろって平気で言う中絶に対して強い怒りがあります。皆さんのご協力ご支援が非常にうれしです。

裁判所の求釈明に中電が回答

祝島島民の会に「調査海域に入るな」と中国電力が訴えた裁判の第14回口頭弁論が7月17日、山口地裁岩国支部で開かれました。前回、裁判所が釈明を求めた4点について、中電側は準備書面10で答えました。焦点となっている中川賢剛・中電社長の本人尋問について裁判所は、釈明を受けた島民側の主張を踏まえて、次回9月18日に採否を明らかにします。

◆中電側の釈明

中電の提訴から間もなく3年。中電側は、島民側の問いに正面から答えぬまま、訴えも取り下げずにきました。そのため前々回は裁判所が原子力規制委員会に直接証言を求め、前回は裁判所が中電側に直接4つの質問をし、「求釈明」しました。今回中電側は準備書面10を提出して、次のように回答しました。

①経緯と海上ボーリング調査の目的＝上関原発の敷地にはF-C断層とF-D断層がある。原子炉を設置するには、活断層が直下にあることを確認する必要がある。新規制基準に適合させるにはF-D断層のデータ補強が必要と考えた。2017年から19年に「鉋物脈法」という新しい断層評価手法を用いた陸上ボーリング調査を実施し有用なデータを得たが、「上載地層法」による海上ボーリング調査も必要と判断した。その後、被告による妨害行為が繰り返され調査できない状況が続いた。

②実施場所＝甲第17-1号証、甲第47号証・資料2-1、甲第16号証などで提示。断層を確実に、かつ安全に採取するには広範な作業区域が必要だが、被告は区域



内に進入を繰り返した。

③必要性＝新規制基準への適合性を問われる安全審査に合格するため。

④埋立前に調査を行う理由＝確実なデータ取得と作業の安全確保のためには、地盤改良の前に調査が必要。

◆中間貯蔵施設予定地に活断層？

調査対象のF-D断層の上に中間貯蔵施設は予定されています。報告集会で中村覚弁護士は、「活断層か否かを見極める調査だと中電が認めたことで、中間貯蔵施設の建設が調査の目的だと濃厚になった」と述べました。

また、「新規制基準に適合するよう努めた」とする中電の主張に対して、「規制委に補正を出さなかったことの正当化は出来ていない。中電の『権利の乱用』を裏付けるものだ」と指摘しました。

◆次回9月18日は島民側証人の尋問

10時半から漁業者・岡本さん、13時15分から木村・島民の会代表、漁業法の専門家・熊本さんの順に行われます。

* * * *

傍聴希望者67人のうち19人が入廷。

文責・「まる新聞」村田久美子

京都地裁への署名用紙を同封しています。最近の原発関連の裁判では裁判官の良心を全く感じられないような判決が続いています。司法崩壊とさえ言われる今、毅然として公正な判決を求める署名です。ご協力をよろしくお願い致します。

2025年4月18日広島高裁で第二次控訴審第一回口頭弁論が行われた。

原告からすでに県知事の埋立免許における違法の新証拠が提出されており、当日は宮本、小畑両原告から村岡県知事の違法の実態、県民の声が証言されました。

私は次期裁判から双方の意見を聞き、審議を通じて違法の実態が明らかにされるものと期待しました。ところが裁判長は二人の意見が終わり、しばらくして「これで結審。次回判決。」と告げたのです。思わず期待は持てないと思いました。

6月20日判決が行われ、私の予想通りをさらに上回る県知事の言い分を全面的に認めた極めて不当な判決でした。

公有水面埋立法は国民の財産（国有）に係るもので公有水面埋立にはきびしい規定が定められています。

埋立工事に関しては「埋立免許を受ける者は工事着手及び竣工を知事の指定する期間内に行うこと」中国電力への埋立免許期間は3年とされています。県知事自ら3年の期間を決めながら、埋立は一切行われぬのに又埋立許可を出すことは公有水面埋立法に違反しているのです。

この違法の下で埋め立て作成事務に係る県職員の給与を県知事は返済せよと言うものです。

判決は「本件各審査作成事務の違法性の有無にかかわらず同支出は違法ではない」。

私には法律の専門家が「違法性の有無にかかわらず、違法ではない」と判断することに疑問を持ちます。

さらに村岡県知事の「埋め立て許可を出し翌日に埋め立てないでくれ」との違法行為に対し埋め立て許可交付は「法廷受託事務として」違法を認めず、中電に対する埋め立てないでくれとの要請は「自治事務」として違法ではないとしています。

つまり裁判所は県知事の違法行為をあの手この手で合法とするために力を注いでいるのです。県知事が公有水面埋立法に違反していることをお忘れなく！

○公有水面埋立の経過

二井県知事は2008年8月公有水面埋立許可を交付。中国電力は2009年に入って埋立に動き出しました。祝島島民をはじめ、反対は強まり中断しました。その後福島原発事故が東電によって引き起こされ、その後埋立は一切進んでいません。

二井県知事は2012年8月知事退任前の6月議会において「福島原発事故により埋立の前提が崩れた。免許延長はしない」と表明。「次の知事にも引き継いでもらいたい。」とし

た。二井知事が埋立免許を出して17年が経過、埋立は一切進んでいない。今、村岡県知事がしがみついている埋立免許は福島原発事故以前の認識において出されたものである。

今、村岡県知事のすべきことは福島原発事故の大災害の実態をつかみ、山口県民のいのちとくらしを守るために一度立ち止まって上関原発について考えてみることです。

関連する新聞記事

- ・(6/26日) 50年の電力需要22年の1.45倍に、政府機関試算。
- ・(6/26日) 揚水発電所大規模修繕。熊本八代、九電が工事公開。
- ・(6/26日) 東電「再稼働、6号機優先」柏崎刈羽、知事は賛否未表明。
- ・(6/26日) 原発建設増額分、料金上乗せ。再エネのみ消費者も負担可能性。
- ・(6/27日) 中電本社の前で原子力事業反対。市民グループ。
- ・(6/27日) 伊豆諸島で洋上風力推進。浮体式、準備区域に指定。
- ・(6/27日) 柏崎刈羽「原発の避難計画了承へ」。オヤ政府防災会議。
- ・(6/27日) 株価低迷に賛同相次ぐ。中国電網会株主提案はすべて否決。
- ・(6/27日) 再エネ支援を大幅縮小。
- ・(6/27日) 東電、柏崎刈羽「早期に改めて表明」。株主総会で、「原発への支援中止」提案続々。
- ・山口県「物言わぬ株主」のまよ。
- ・(6/27日) 太陽パネル再活用企業注力。2020年代大量生産見込み。回収義務には時期見えず。
- ・(6/28日) 電気ガス料金全社。数字は大きな重量比。新エネルギー産業技術総合開発機構(NEDO)資料より。
- ・(6/28日) 柏崎原発避難計画了承。政府、再稼働へ知事判断断念点に。
- ・(6/28日) 電力先物、東西で3.7倍。
- ・(6/29日) 示原発冷却水漏れ。23年手帳無視で虚偽報告。
- ・(6/29日) E-VやA-環境問題。くも電池製造、発電汚染源に広がる。
- ・(6/30日) 柏崎原発再稼働。巡回、賛否、新潟県民公聴会。
- ・(6/30日) 太陽光設置目標を義務に。工場や店、12万事業者対象。来年度から。ペロブスカイト導入促す。
- ・(7/1日) 中電NW上流に業務委託。関連2社に非公報情報提供。
- ・(7/2日) 送電網増強に大型投資。周電150億円。東電200億円。データセンター需要急増。
- ・(7/3日) 柏崎刈羽両稼働を「保留」柏崎市長。来月にも東電社長と面会。
- ・(7/4日) 最大「グリーン」水素。環境。州政府。追加支援見送り。
- ・(7/5日) 伊方一号機で汚水。酸水もれ。

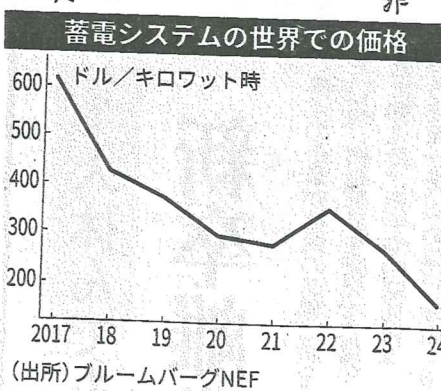
太陽光パネルのリサイクル

パネル	割合
ガラスパネル	62%
アルミフレーム	16%
発電部分(シリコン、プラスチックなど)	21%
電極材料(銅など)	1%

板ガラス(AGCが実用化)
路盤材
コンクリート骨材
ガラス繊維など
アルミリサイクル
金属リサイクル
※プラスチックなどは熱回収

ペロブスカイトが向き合う課題	
発電効率	既存品と比べて発電効率が劣る
耐久性	耐用年数が10年程度のももあり、更新が高頻度に
法規制	設置方法に制限があり、現状は特殊な施工技術が必要
中国メーカーとの競合	中国メーカーは一部量産に着手。現在主力のパネルは安さで日本製を圧倒

- ・(7/5日) 美浜原発への断層影響なし。
- ・(7/5日) 太陽パネル導入に壁。
- ・(7/6日) ウクライナ「原発で電源喪失、ゼレンスキー、原発で3時間、9回目」。
- ・(7/6日) 米脱炭素。系にブレーキ。温暖化対策を72兆円削減。
- ・(7/8日) 福島の新燃料。青森に搬入。石川の中岡貯蔵施設、東電柏崎刈羽原発。
- ・(7/10日) 女川2号機の40年運転認可。規制本。
- ・(7/12日) 核融合炉で発電。30年代に実用化。東京の企業計画。
- ・(7/12日) バイオマス新規開発。環境。
- ・(7/12日) 東広島、再エネで「街づくり」。
- ・(7/13日) 未使用核燃料。子に移送へ。福島6号機。
- ・(7/15日) 泊原発避難計画偽情報対策。盛る。3度目の改正。
- ・(7/15日) 原発処理水。3回目の放出。
- ・(7/15日) 参院選で、持続可能なエネルギーの長期戦略を語れ(社説)。
- ・(7/16日) 新型地熱。初果最大46兆円。温泉地以外でも発電。
- ・(7/17日) 事故は人災。原告側訴え。原発避難訴訟。上馬島高裁で口頭弁論。地裁は口頭責任認めず。
- ・(7/17日) 蓄電所異業種参入。広がる再エネ供給調整に商機。
- ・(7/17日) 原発再稼働の是非。原発を最大限活用。自民・公明・国民。早期に再稼働。維新。次世代原発に投資。参政。
- ・再稼働承認。5年後に再エネ100%止見。速やかに「原発ゼロ、40年までに再エネ100%」開産。即時使用禁止。50年までに再エネ100%。れいわ。
- ・(7/18日) 原発事故。痛感した「村」東電の技術系広報。本国の技術の枠にしばられる。主体的に安全を考えた。らった。
- ・(7/18日) 12原発の地盤隆起対応確認。
- ・(7/19日) 周電、原発建設を本格検討。美浜敷地内。地質調査。
- ・(7/20日) 福島。除染土官邸に搬入。2立方m。前年度の1角まで利用。



(新聞記事のつづき)

- ・(7/20日) 原発、A-1電力需要の後押し。
- ・(7/21日) 参院選 自公大敗 選挙教訓を
- ・(7/22日) 原発の推進 維持へ、国民民主党、参政前向き。
- ・(7/22日) 中川への省エネ支援 経立佐省、来年度のり。
- ・(7/23日) 南電(原発新設、次世代型審査委員長化も、新規制基準初、安全性確保など課題
- ・(7/23日) 原発肉連 株が逆行高、南電の新設調査受け物色
- ・(7/23日) 電力は成長のエネルギー源
- ・(7/23日) ガレレス、口連事務総長より稿、「再エネ普及、ハイソフ強化、送電網、東電電池へ投資訴え。」「昨年、世界の再設電源のほぼ全てが再生エネだった。

地域の新聞記事

- ・(6/27日) 上関中間貯蔵計画「中止」提議は否決、中国電力株主総会。
- ・(6/27日) 核施設攻撃、オヤイスラエルに抗議、山口被爆二世の会など、抗議文は、オロとイスラエルの在日大使館、首相官邸にも送った。
- ・(6/27日) 中電株主総会、中間貯蔵必妥性改めて強調、島根3号機「早期に核断」

中電本社の前で
原子力事業反対
市民グループ



中国電力の株主総会があった26日、原発に反対する市民グループが、広島市中区の中電本社前で、昨年12月に再稼働した島根原発2号機(松江市)の運転取りやめなどを訴えた。

広島県や山口県、島根県から約60人が参加した。「動かすな! 島根原発」など書かれた横断幕を掲げ、「放射性廃棄物を生み出す事業はやめろ」と主張した。中電が山口県上関町で検討する使用済み核燃料の中間貯蔵施設の建設計画撤回も求めた。

上関原発を建てさせない祝島島民の会の木村力代表(78)は「使用済み核燃料の再処理工場が完成していない中、中間貯蔵施設が永久貯蔵の場になる懸念がある。容認できない」と話した。

(6/27日)

- ・(7/1日) 海保から燃料費負担実証、航空機用SAF原料に、京都大や三菱大などのチーム
- ・周南市のた田沖、世界初の試み
- ・(7/10日) 上関小児立地、政内が否定にマイグロムエゴ海に放流

- ・(7/11日) 米山国基地訓練市に反対を要請、市民団体の主張
- ・(7/12日) 参院選 エネ政策高い関心、中間貯蔵分かれる主張
- ・(7/16日) 参院選、中間貯蔵計画、上関の先例の青木、あつ。財政潤うも移住の足かせに。
- ・(7/16日) 中間貯蔵施設の住民説明会要望、周南市に地元団体

中間貯蔵施設の
住民説明会要望

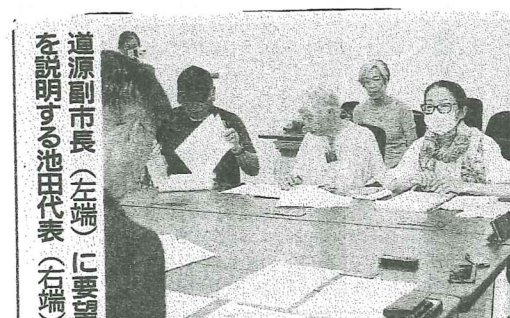
中国電力が山口県上関町で建設を検討している使用済み核燃料の中間貯蔵施設を巡り、周南市の住民グループが15日、市役所を訪ねて住民説明会の開催を要望した。

を提出した。推進側と反対側の双方の専門家を招く説明会を市が開くよう求めている。

市は文書などで回答する方針。会の池田真由美代表は「市民が判断できる材料があったほうがいい」と述べ、早期の開催を求めた。

対応した道源敏治副市長は国や中電から説明を受ける必要性は認めただが、説明するよう求める時期は「計画案が策定された段階」と従来の立場を述べるにとどめた。

建設に反対する「中間貯蔵施設を考えよう周南の会」の4人が訪れ、藤井律子市長宛ての要望書を提出した。



道源副市長(左端)に要望を説明する池田代表(右端)

本の紹介

「司法が原発を止める」
井戸謙一・植口英明 著

裁判官の責任とは何か? 裁判官の責任とは何か?

旬報社 1600円+税

地中社 1980円+税

◆ 8月5日～6日の広島市での行事です。

●被爆80周年原水爆禁止世界大会 ひろば

ヒロシマ・ナガサキ・フクシマ・JCO・チェルノブイリを結んで ヒバクを許さない集い Part24

被爆80年、核抑止・戦争・原発回帰 認めない・許さない！

8月5日(火) 午後2時～4時半

RCC文化センター7F
広島市中区橋本町5-11 Tel: 082-222-2277

被爆80年という節目の年を迎えました。広島、長崎への原爆投下によって、その年末までに約21万人が亡くなりました。年月の経過とともに、生存被爆者の減少と高齢化が顕著となっています。

「ヒバクを許さない集い」は、1999年秋に茨城県東海村で起こったJCO事故(ウラン燃料製造工場で起きた日本初の臨界事故)に対する国の責任追及と住民・労働者の健康被害の補償を求める運動の高まりを背景に、原水爆禁止大会のひろば企画として、2000年より開催されてきました。

今、私たちは大きな分岐点に立っています。ロシアによるウクライナ侵略戦争での核使用の威嚇、イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への虐殺やイランの核施設への攻撃、アメリカによる介入・爆破攻撃となって現れています。これらは被爆者や世界の非核・反核の運動が打ち立ててきた「核のタブー」を打ち壊し、核拡散防止条約(NPT)違反を繰り返し、核兵器禁止条約が成立した世界を、核拡散、核使用の危機に向かわせるものです。

国内では、軍事費の急増、軍力強化、核兵器禁止条約に反対し非核3原則を踏みにじるアメリカとの核共有の動き、福島原発事故ヒバクの被害は無いなどとする「原発回帰」の動きとなっています。

昨年「日本被爆協」にノーベル平和賞が授与されました。被爆者の功績が評価されたとともに、これからの私たちの運動への期待として、重く強く受け止めなければなりません。

原爆投下から80年、再び戦争や核軍力の強化が進められ、原発拡大が行われようとしている今、私たちは、ヒバクを許さない新たな取り組みの必要性を感じています。

親世代の被爆者の体験を思い起こし、改めてこれからの核なき世界への希望・思いを語り、その実現に向けた行動を起こす「集い」としたいと考えます。



今や、人類滅亡の終末時計は残り89秒

◆◆◆◆ ヒロシマからの提言 ◆◆◆◆

タイトル1 被爆80年にあたって被爆二世から問う！

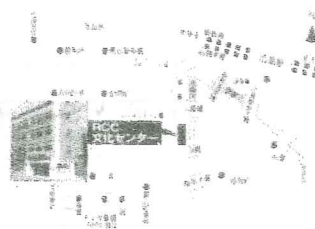
あの日から今 そして未来へ ヒロシマの心をつなぐ

◆お話し 伊達 純 原発はごめんだヒロシマ市民の会

タイトル2 ヒロシマと原発

原発推進に利用された被爆地

◆お話し 木原 省治 広島市原爆被害者の会



主催 原子力資料情報室・双葉地方原発反対同盟・原発はごめんだヒロシマ市民の会・ヒバク反対キャンペーン

問合せ先 〒731-5135 広島市佐伯区海老園 2-17-9 原発はごめんだヒロシマ市民の会 大原省治

携帯 090-5837-8236 Eメール gomenda@bronzoon.ne.jp

被爆二世の会、寺中さんより

8・6広島青空式典に集まれ！

日時: 2025年8月6日(水)10時30分

場所: 広島原爆ドームの隣り

「戦争と被ばくを許さない写真展～命を脅かすもの～」は10時00分頃から行っています

プログラム

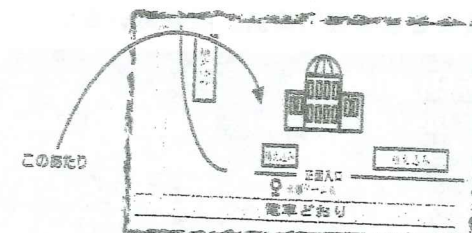
1. 開会の言葉
2. 黙 祷
3. 基調報告 被爆二世の会
4. メッセージ
5. 各団体・個人からの歌、発言
6. 閉会の言葉
7. シュプレヒコール

・午前5時～9時は広島市による平和記念公園への入場規制があります。ご注意ください。

・新型コロナウイルス感染予防と熱中症対策をした上でご参加ください。

・参加が難しい方はメール等でメッセージを頂けると幸いです。

頂いたメッセージは青空式典で配布するほか、ネットにアップします。イニシャルやペンネーム、匿名可能です。



8月5日～6日の広島市での行事24

8・6ヒロシマ平和へのつどい2025

軍都広島137年、東京を含む日本全国大空襲
—沖縄戦—広島・長崎原爆ジェノサイドから80年
重慶爆撃からガザ・ジェノサイドまで

ヒロシマは何をなすべきか

8/5(火) 17:00▶19:00 (16:30開場)

広島市まちづくり市民交流プラザ研修室ABC

(広島市中区袋町6-36)

資料代：1000円

「在朝被爆者の援護のために」 大月純子さん(被爆2世)

「天皇の招爆責任について」

西岡由紀夫さん(被爆2世、ピースリンク広島・呉・岩国 呉世話人)

「核エネルギー利用の本質的困難性

—質量欠損の利用を続けてはならない—

湯浅一郎さん(ピースデポ前代表)

「ジェノサイドを周縁化するイスラエル・パワーを食い止める」

田浪亜央江さん(広島市立大学教員、中東地域研究)

沖縄からのメッセージ 具志堅隆松さん(ノーモア沖縄戦命どう宝の会共同代表、

沖縄戦遺骨収集ボランティアガマフヤー代表)

福島からのメッセージ 武藤翔子さん(福島原発告訴団団長)

広島原爆80年朝鮮人犠牲者追悼団(韓国)運営あいさつ

* 関連行事 * 8月6日(水)の行動

6:45 ひろしまゲートパーク内「ピースプロムナード」集合
7:00 グラウンドゼロのつどい
8:15 追悼のダイイン
8:30 「8・6反戦・反原子力・反ジェノサイド広島デモ」
ピースプロムナード南側出発～中国電力本社前
9:30 脱原発座り込み行動(中国電力本社前)

主催：8・6ヒロシマ平和へのつどい2025実行委員会

☎090-4740-4608(久野成章) E-Mail 86tudoi.hiroshima@gmail.com

URL <https://8-6hiroshima.jp/tudoi/tudoi.html>

「被爆80周年原水爆禁止世界大会」にご参加ください！

被爆80周年原水爆禁止世界大会実行委員会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1階

TEL:03-5289-8224 FAX:03-5289-8223

2025年は被爆から80年を迎えます。80年前の8月6日広島、8月9日長崎で、それぞれ投下された原子爆弾により多くの命が奪われました。加えて、今日を迎えてもなお、その被害に苦しめられている被爆者がいます。被爆の遺伝的影響を含めて、今後いつまで続くかも見通すことができない被害の実態は、長い年月を経てなお、原爆がいかに「非人道的」な兵器であったかを私たちに知らしめ続けています。

2024年のノーベル平和賞は日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)が受賞しました。被爆者のみなさんが凄惨な体験を、具体的な言葉で語ってこられたことが、国際的に「核の非人道性」を確立させる大きな原動力となってきました。心よりの敬意を表します。ヒロシマ・ナガサキ以降、戦争によって核兵器が使われていない歴史は、今後も守り続けていかなければなりません。

いっぽう日本政府は、核兵器禁止条約発効から4年を迎えた今日においても、いまだ署名・批准に前向きな姿勢を示すことはありません。アメリカの「核の傘」に守られている日本が、核兵器廃絶を願う国々と、核保有国との「橋渡し役」を担うことなどできるのでしょうか。

原水禁が訴えてきた「核と人類は共存できない」という理念は、核兵器だけに留まらず、すべての核絶対否定という明確なものです。その理念の実現に向けた日々の運動を、今後も継続して展開していかなくてはなりません。国内において、残された被爆者問題として最も解決が急がれる「被爆体験者」問題について、いまだ解決がはかれません。新たな医療支援制度が始まりましたが、「被爆体験者」は決して被爆者と認めないとする国の姿勢が明らかになったことで、長崎を中心に怒りの声があがり続けています。日本政府は直ちに「被爆体験者」は被爆者だと認めるべきです。

このような情勢の中で迎える「被爆80周年原水爆禁止世界大会」は、原水禁運動の積み重ねの中でも節目となる重要な大会となります。これまでの80年の月日の中で決して終わることなく被害が続いてきた事実と向き合いながら、世界のヒバクシャと連帯し、核も戦争もない世界を希求していきましょう。

【大会コンセプトと基本ルール】

①被爆の実相を原点としたヒバクシャの援護・連帯と核廃絶運動、それらの次世代継承を柱とします。

②核兵器禁止条約と核不拡散条約による国際社会の核軍縮をめざします。

③東日本大震災・福島原発事故から学び、脱原発社会の実現をめざします。

「反核・非核で一致する」すべての人々に開かれたものとし、さまざまな立場の人たちが協同できる場とします。

【大会スケジュール】

日程	開催地	午前	午後
7/26(日)	福島	—	全体会
8/4(月)	広島	—	平和行進・開会総会
8/5(火)		分科会・フィールドワーク	フィールドワーク・ひろば等
8/6(水)		国際シンポジウム・まとめ集会	—
8/7(木)	長崎	—	開会行事
8/8(金)		分科会・フィールドワーク	フィールドワーク・ひろば等
8/9(土)		閉会総会・平和行進・黙祷	—

【大会の詳細・参加方法については下記URLに掲載しています】

→<http://gensuikin.peace-forum.com/80gensuikin-info/>

